

7年間ありがとう! アンディ先生

多古中学校でALT(外国語指導助手)として7年間勤めたギレスピー・アンドリュー(ニックネーム: アンディ)先生が、7月をもって退職され、後任にテイラー・ハリス・ニコル先生が勤務することとなりました。

そこで、アンディ先生とテイラー先生に、多古町の皆さん、多古中学校の生徒の皆さんに向けてメッセージをいただきました。



(左から)テイラー先生、アンディ先生

—アンディ先生から皆さんに向けて—

多古町ではとても楽しい7年間を過ごすことができました。この2年間はコロナ禍でいろいろと大変なことも多かったですが、それよりも生徒たちとたくさんの思い出ができたことは、私にとってかけがえのない宝物になりました。

多古中の生徒はみんな元気で、英語で一生懸命私と話そうとしてくれたことがとてもうれしかったです。昨年は英語スピーチコンテストで多古中が香取郡内で1位となりました。その結果にとっても驚きましたが、生徒たちの練習の成果が表れてとてもうれしかったです。

そして、町民の皆さんもとても優しく接してくれて、あるご夫妻は私に日本語を教えてくれたり、自宅で採れた野菜をくださったり、その支援に感謝しています。また、思い出の一つとして、ニュージーランドから日本に来てしばらくたった後、歯が痛くなってしまったことがありました。そのとき、教育委員会の方が病院まで一緒に来てくれて、その後もサポートしてくれたことは、今でもよく覚えています。

最後に多古中の生徒のみんなにメッセージがあります。「いつも笑顔でいてください。Smile, please try English. Do your best.」

7年間ありがとうございました。

多古町へようこそ! テイラー先生

氏名 ● テイラー・ハリス・ニコル

出身地 ● アメリカ合衆国アリゾナ州

趣味 ● サックス演奏

(小学校から大学までマーチングバンド部に所属)

好きな食べ物 ● うどん

日本で行きたい場所 ● 京都(歴史が好きなため)

メッセージ

学生時代から日本語を勉強することはとても楽しく、町民の皆さんや多古中の生徒の皆さんと会話できることをとても楽しみにしています。見かけたらぜひ話しかけてください!

生徒の皆さん、これから一緒に楽しく英語を勉強していきましょう!



練習が結実したインカレ初優勝!

あっぱれもん! に拍手 特別編



[写真提供: 早稲田スポーツ新聞会]

8月に東京駒沢体育館で開催されたレスリングの2022年全日本学生選手権において、山倉孝介さんが79kg級で初優勝を飾りました。5試合中4試合がテクニカルフォール勝ちで、しかも初戦から決勝まで1ポイントも失わない、圧勝での優勝となりました。



今回インカレで初優勝できて、率直にうれしいの一言です。決勝の対戦相手が高校時代の同級生でチームメイトだったこともあり、複雑な気持ちではありましたが、お互いの手の内を知り尽くしている仲でしたので、心に余裕を持って試合に臨めました。今大会では、前に出ることを意識していて、そのことが好結果に結び付けました。

現在は、12月の天皇杯に向けて練習に取り組んでいます。大学選手権に続く優勝を目指して頑張っていきます。

関東中学校柔道大会ベスト16



今回、初めての関東大会でも緊張しましたが、相手の胸を借りるつもりで頑張り、一回戦を突破することができました。自分は小さい頃から体が弱く、気も小さかったので、そんな自分を変えるために父もやっていた柔道を始めました。柔道のおかげで精神的にも肉体的にも強くなったと思います。今の自分があるのは柔道のおかげです。

今回で中学生としては最後の大会となりますが、高校に行っても柔道を続け、また関東大会に出場できるよう頑張っていきたいと思っています。



私は小さい頃から走ることが好きで、小学4年生の頃から陸上を始めました。大会に臨む上で、食事制限や遊びを我慢して陸上に打ち込むこともあり、大変に感じるときもありますが、頑張った分、良いタイムが出たときはとても気持ちいいですし、周りの人たちが喜んでくれることがうれしいです。

今回の関東大会では思うような結果を出すことができず、悔しい思いをしましたが、この気持ちをバネに次の大会では良い結果を残せるよう頑張ります。